

埼玉親善大使レポート

高橋 愛里

アメリカ合衆国オレゴン州

この度は埼玉世界行き奨学金に合格をさせていただき、本当にありがとうございました。1月2日をもって約7カ月間の留学が終了しました。こちらのレポートでは私が埼玉県の親善大使として現地で行った活動について報告させていただきたいと思います。

私は、半年間の大学での学部留学と並行し、1か月間のインターンシップをしました。アメリカに行ってから”Where are you from?”と出身地を聞かれる機会が増え、自分が日本人であること、埼玉県親善大使であることを強く意識しました。しかし残念ながら、”Saitama”と言っても誰一人知りませんでした。

そこで私は、授業の中でプレゼンテーションの機会があるとことあるごとに埼玉に関連づけて発表しました。例えば、アニメの発表の時には、秩父や所沢を舞台にした作品について、ショッピングモールの時には越谷レイクタウンを紹介しました。授業内容と関連して埼玉を紹介することで日本や埼玉に興味がない学生にも興味を持ってもらいやすかったです。



プレゼンテーションの様子

また、所属していたクラブでジャパンナイトというものを開き、ほかの日本人と協力して、日本食を作ったり、日本についてプレゼンテーションしました。このイベントに参加している人は日本に興味がある人でしたが、それでも埼玉については皆あまり知りませんでした。活動していて1番嬉しかったのは、私の埼玉の紹介の中の越谷能楽堂の説明を聞いて、友達が能に興味を持ち、実際に観に行ってくれた

ことです。また、わざわざ日本に来て埼玉に足を運んでくれる友達もいました。

埼玉親善大使として活動することで、埼玉をより知ることができました。外から見たことで改めて埼玉県の魅力を実感しました。都会に近く、自然も多い埼玉の魅力をなんとか海外の人に伝えたいと思い、プレゼンテーションをしました。プレゼンテーションはあまり得意ではなかったのですが、自分の地元であり、よく知っている埼玉のことだったので自信をもって発表することができました。このような機会を得ることができたのも埼玉親善大使に任命していただいたからだと思います。貴重な学びの機会をいただき、ありがとうございました。



ジャパンナイトの参加者と